

# Cisco CAB-MCP-LC データシート



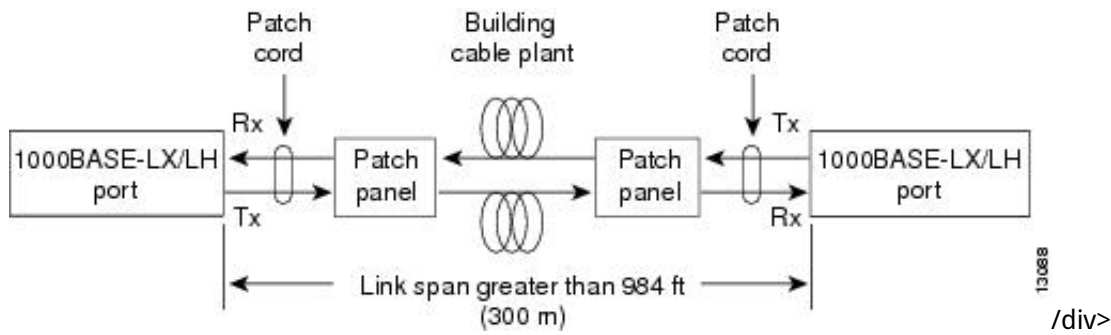
Cisco CAB-MCP-LC モード調整パッチ ケーブル 62.5u、LC コネクタ

CAB-MCP-LC

CAB-MCP-LC、IEEE 802.3z 準拠の光ファイバー アセンブリで、片端にデュプレックス SC コネクタ、もう一方の端にデュプレックス LC コネクタを備えた 62.5 ミクロンのマルチモード光ファイバにオフセンターで永続的に結合されたシングルモードファイバで構成されます。パッチコードの長さは 1 メートル (3.28 フィート) です。

レガシー 62.5 ミクロンまたは 50 ミクロン MMF で 1000BASE-LX/LH、10GBASE-LX4、および 10GBASE-LRM トランシーバーを使用する場合、トランシーバーとリンクの両端の MMF ケーブルの間にモード調整パッチコードを取り付ける必要があります。パッチコードは、IEEE 標準およびシスコの仕様に従って、FDDI グレード、OM1 および OM2 ファイバタイプを介したすべてのリンクに必要であり、OM3 以降のファイバタイプを介したアプリケーションには決して使用しないでください。

モード調整 パッチコード構成



## パッチコードの取り付け

モード調整パッチコードは、トランシーバとパッチパネルの間に取り付けられます。インストールごとに2つのモード調整パッチコードが必要です。パッチコードを取り付けるには、次の手順に従います。

- ステップ 1、シングルモードファイバー (SMF) コネクタをトランシーバの送信ボアに差し込みます。
- ステップ 2、デュプレックスコネクタのもう一方の半分をトランシーバの受信ボアに差し込みます。
- ステップ 3、パッチコードのもう一方の端で、両方の MMF コネクタをパッチパネルに差し込みます。
- ステップ 4、ネットワークリンクのもう一方の端にある 2 番目のトランシーバについて、ステップ 1 からステップ 3 を繰り返します。

## 仕様

- 部品番号: CAB-MCP-LC
- ケーブルタイプ: モード調整パッチコード
- コネクタ A: デュプレックス LC (SFP 側)
- コネクタ B: デュプレックス SC (ケーブルプラント側)
- 長さ: 1 メートル (3.28 フィート)

この CAB-MCP-LC の詳細については、シスコの Web サイトにアクセスしてください

。 [ossdc000283#wp999124](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/ethernet_1000base_lx_lh/1000base_lx_lh_cab_mcp_lc.html)

[今すぐ購入](#)